

RoomClip Award 2023-2024

日本最大級の住まいと暮らしのソーシャルプラットフォーム「RoomClip（ルームクリップ）」は、インテリアや住まい、暮らしについての生活者の最新トレンド「RoomClip Award 2023」をまとめました。2015年の発表開始から9回目となる今年のランキングには、「脱コロナ」でさらに変化する家の中の新たなキーワードが数多くランクイン。1位にはそんな脱コロナの気分を象徴するようなトレンド「色のある暮らし」が選ばれました。



maisun / Room No.3223451

2023 KEYWORD RANKING

暮らしとインテリアの注目ワード / 詳細は2面以降に

- 1 色のある暮らし
- 2 省エネ・断熱
- 3 ゲーミング部屋
- 4 専用収納テク
- 5 ペットテック
- 6 スロップシンク
- 7 パウダーコーナー
- 8 スポット家電
- 9 孫のいる暮らし
- 10 室内窓

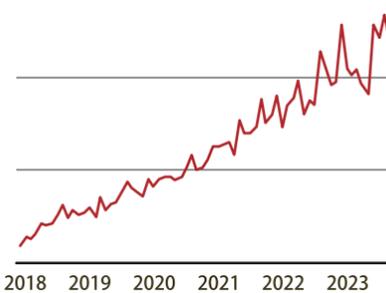
RoomClip Awardの選出はRoomClip内のシンクタンク「RoomClip 住文化研究所（住文研）」が行っております。RoomClipに投稿された写真やコメント、タグといった投稿データ、検索キーワードやいいね数、保存数といったアクティビティデータなどを定量的、定性的に分析し、さらに社会構造の変化や消費動向、世相、業界の動きなどを総合的に判断しています。

新型コロナウイルスの流行から4年目となった2023年。5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行したことで、旅行や外食の需要が回復し始め、生活者の目線が家の中から外に向けた1年間となりましたが、実は家の中でも新たなトレンドが数多く生まれました。メイクに関連する「パウダーコーナー」、旅行や外出時にもペットの生活環境を保持するための「ペットテック」などが代表といえます。

キーワードランキング1位となったのが、そんな「脱コロナ」の気分を象徴するような、住まいをカラフルに彩るトレンドです。RoomClipでは「色」「カラフル」といったキーワードを含む投稿が2020

年に比べて1.5倍に増加。「ポップ」や「押し部屋」のほか、現在Z世代を中心に受け入れられている「Y2Kファッション」を想起させる「レトロポップ」といったキーワードが「色のある暮らし」として生活者の中に広く浸透しています。

「ゲーム」を含む検索推移 ※RoomClipデータベース

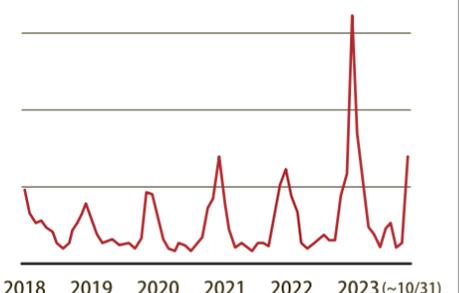


3年間の「ステイホーム」を過ごす中で生まれた住まいの兆しが、トレンドにまで発展したのも今年の特徴でした。eスポーツやゲーム配信などここ数年でさらに盛り上がりを見せている「ゲーム」に関してはRoomClipでも注目度が高まり続け、2023年にはゲームをするための部屋「ゲーミング部屋」がトレンドとなりました。また、おうち時間が増える中で生活者が家に関連するさまざまなアイデアやアイテムを試した結果として、収納や

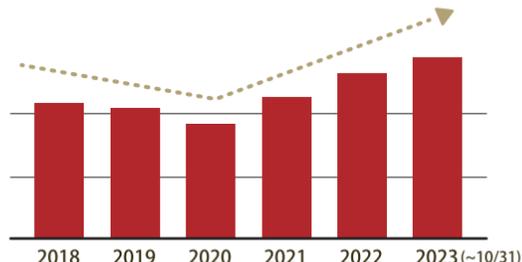
家電など定番の分野でも、「専用収納テク」や「スポット家電」といった新たなトレンドが生まれています。

住まいは、人々の日常生活の土台となり、舞台となるもの。生活者の暮らしが変化すると、住まいも少しずつですが確実に変化していきます。そして生活者の暮らしに変化をもたらすのは、社会そのものの変化です。新型コロナウイルスという大きな災禍が社会を大きく変え、暮らしを大きく変え、そして住まいを変えた3年間を経て、2023年はこれまでとはまた違う新たな住まいのトレンドの萌芽が見られた1年となりました。今後人口減少と少子高齢化が進むなかで、日本社会の構造はさらに変化していくことが見込まれます。人々の暮らしの舞台となる住まいにどのような変化が起きるのか、RoomClipは虚心坦懐に今後も見続けていきます。

「断熱」を含む検索推移 ※RoomClipデータベース



「色」「カラー」を含むタグの投稿率の推移 ※RoomClipデータベース





ririri / Room No.2865355

1 色のある暮らし #カラフル #レトロポップ

シンプル、ホワイト、ナチュラルといったすっきりとしたスタイルが人気だったここ数年の部屋のインテリアトレンドですが、にわかには色を取り入れたお部屋の投稿が目立つようになってきました。花、ポストカード、インテリア雑貨などの小さなものから、

ブランケット、ラグ、ベッドリネン、といった大きなもので色を取り入れる人もいます。中にはお部屋全体が色で満たされたような投稿もあり、カラフル、ポップ、レトロ、といった

スタイルのタグも増加傾向に入っています。"脱コロナ"の2023年を象徴するような、明るく彩り豊かなお部屋が投稿されました。

3 ゲーミング部屋 #ゲーム部屋



cotori / Room No.6069242

省エネ・断熱への関心の高まりは、電気代の高騰が引き金になりました。2022年の冬、節電に関連する検索は前年比15倍、断熱に関連する検索は前年比約2.6倍に増加し、2023年の10月時点でも前年を上回る勢いで増加しています。電気代の高い冷暖房器具の利用抑制や代替とともに、冷暖房効率を上げる試みが積極的に行われました。さらに追い風になったのが、経済産業省・環境省の先進的窓リノベ事業です。補助金を使った高断熱の窓リフォームが急速に進行、住まいと暮らしの中で、省エネ・断熱の優先度が急上昇した1年でした。

ゲーミングリビングが完成しました！！

2020年以降、コロナ禍のおうち時間の増加とeスポーツの盛り上がりとともに、ゲーミングチェアやゲーミングデスク、ゲーム関連製品が住まいの中へと取り入れられ、暮ら

し方に応じた様々な形式のゲーミング部屋が構築されてきました。ゲームのための空間として初期から多く見られたのが、一人用のゲーミング部屋にサイケデリックなライティン

グを施す独特のスタイルです。2023年現在ではゲーミング部屋の形式は多様化しており、趣味部屋や仕事部屋、リビング、ヌックなどと融合し、独自の発展を遂げています。



Hannah / Room No.5705547

2 省エネ・断熱 #節電 #断熱

4 専用収納テク #ケーブル収納 #リモコン収納 #ドライヤー収納



yocchan / Room No.2259573

「特定のもの」だけにフォーカスした専用の収納ノウハウに注目が集まっています。リビングのリモコン、洗面所のドライヤー、玄関の消臭剤、子供部屋のレゴやトミカなど、住まいのあらゆる場所で専用収納ノウハウが構築されています。メーカーからも専用収納を意図した製品が続々と発売されており、このトレンドを後押ししています。

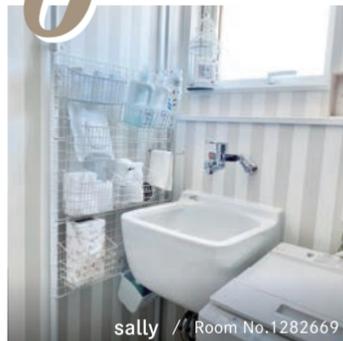
5 ペットテック #自動給餌器 #自動給水器 #見守りカメラ



botan / Room No.4434325

"脱コロナ"でお出かけや旅行が急増した2023年、猫や犬をはじめとしたペットと暮らす人々の間で注目されたのが「ペットテック」関連の製品です。外出してもペットの世話ができる環境づくりが目指され、「自動給餌器」「自動給水機」「自動トイレ」「見守りカメラ」「空調管理」を中心に、様々な製品が住まいに迎えられました。

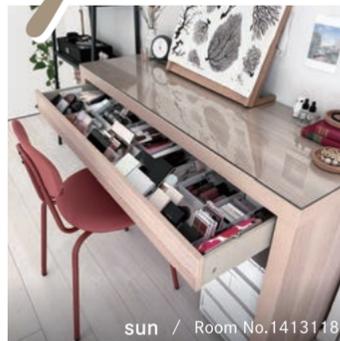
6 スロップシンク #スロップシンク #ランドリールーム



sally / Room No.1282669

2023年も引き続き家事の時短効率化は、最も関心の高いテーマの一つです。その中で注目を高めたのが汚れ物専用シンク「スロップシンク」です。子供とペット関連の汚れもの、花や植物の水やりなどを洗面と分けて行いたいという人を中心に採用されています。ランドリールームへの導入も進んでおり、今後ますますの注目が予想されます。

7 パウダーコーナー #コスメ収納 #メイクスペース



sun / Room No.1413118

"脱マスク"でコスメ関連商品への消費が上向いた2023年、住まいの中では、パウダーコーナーへの関心が急上昇しました。話題は、増えるコスメに対応するコスメ関連の収納ノウハウだけにとどまらず、スチーマーや美顔器など近年多様化している美容家電、美容関連グッズの置き方、収納の話題についても連動し盛り上がっています。

- 1 塩系インテリア
- 2 DIY
- 3 リメイクシート
- 4 ミニマリスト
- 5 植物のある暮らし
- 6 男前インテリア
- 7 foodpic
- 8 理系インテリア
- 9 西海岸スタイル
- 10 リノベーション

- 1 西海岸インテリア
- 2 シンデレラフィット
- 3 ねこと暮らす
- 4 白のチカラ
- 5 草系リメイク
- 6 エフォートレス
- 7 セルフリノベ系DIY
- 8 bohoスタイル
- 9 しただけインテリア
- 10 アウトドアミックス

- 1 グレーインテリア
- 2 キッズスペース
- 3 アウトドアインテリア
- 4 家電のインテリア化
- 5 ハーバリウム
- 6 業務用〇〇
- 7 DIY初心者
- 8 狭いスペースを活かしたい
- 9 イベントデコレーション
- 10 アクセントクロス

- 1 BOHO・ボヘミアンスタイル
- 2 色のある暮らし
- 3 海外インテリア・海外風インテリア
- 4 窓のDIY
- 5 モールディングDIY
- 6 タイル貼りDIY
- 7 バスルーム吊り下げ収納
- 8 ミニキッチン収納
- 9 シンク下収納
- 10 一人暮らしインテリア

8 スポット家電

卓上クリーナー # 布団乾燥機 # ミニ扇風機

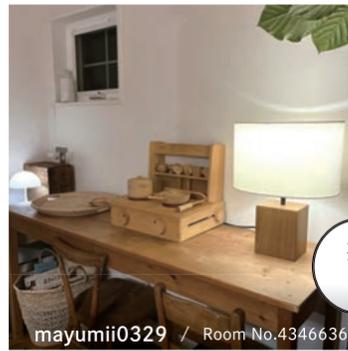


koko_hika / Room No.4136732

限られたシーンにおいてのみ特化して利用する「スポット家電」に注目が集まりました。机の上で消しゴムのカスを掃除する「卓上クリーナー」、首にかけて利用する「ネッククーラー」、布団だけを乾燥する「布団乾燥機」など、用途を限定した様々な家電が、より心地よい暮らしにこだわる生活者の個別のシーンに取り入れられました。

9 孫のいる暮らし

孫のいる暮らし



mayumii0329 / Room No.4346636

「孫」と豊かに暮らすためのノウハウや商品に注目が集まっています。お孫さんのためのイベント装飾や DIY ノウハウ、帰省した時のための遊ぶスペース、ゲストルームがリフォームで実現される例などが投稿されています。

SNSを利用する世代も徐々に歳を重ね、新しいライフステージの話題が盛り上がるようになっていきます。

孫の為にままごとコーナーに変更しました。

10 室内窓

室内窓



au_mean / Room No.2815367

2023年もウェルビーイングな暮らしへの関心は継続、家族世帯でも一人でゆったりと過ごす時間を確保したいと考える人が増えています。そんな中一人でいる時も家族と緩やかにつ

ながっていただける空間を実現できる「室内窓」に注目が集まっています。2019年以降に大手メーカーから室内窓製品のリリースが相次ぎ、普及を後押ししています。

RoomClip Award 2023 総まとめ

生活防衛意識が推し進める、持続可能な暮らし

物価や光熱費の高騰からくる生活防衛意識が、節約や省エネ、断熱といった住まいと暮らしの見直しを促しました。買い物の習慣が見直され、冷暖房器具はより狭い範囲で少ない出力で済むものへと置き換えが進み、さらに効率をあげるため断熱対策が行われました。実のところ、SDGsというキーワードが定着するずっと前から、節約や省エネ、再利用(リサイクル、リメイク、リペア)、ゴミの削減、良いものを長く使う、などといった活動

はすでに投稿がされていました。その背景にあったのは「ロハス」「スローライフ」「丁寧な暮らし」といった豊かなライフスタイルを目指したコンセプトです。ところが、2023年のこれら一連の動きは、豊かなライフスタイルに向けた活動として、ではなく、生活を防衛するための活動でした。より生活に直結した問題意識からくる圧倒的な当事者性が、持続可能な暮らしへのシフトを力強く推し進めています。

汎用から専用へ。細分化・深化する生活者のニーズ

汎用から専用の流れは、ノウハウ、製品、住まい、全てのポイントで進んでいます。ノウハウでは、汎用的な収納方法ではうまくいかない専用収納テクが目立され、製品では、スポットで使われる「スポット家電」、一人暮らし用の「パーソナル家電」など特定のシチュエーションや、特定の世帯に特化した家電に人気があつきました。住まいでは、癒しやくつろぎに特化した「ヌック」、洗濯に特化した「ランドリールーム」、

ゲームに特化した「ゲーミング部屋」、メイクと美容に特化した「パウダーコーナー」など、特定の機能や過ごし方に特化したコーナー、部屋への注目が高まっています。この変化を促している要因は、ライフスタイルの多様化に他なりません。価値観が多様化し、世帯構造が多様化する中で、住まいと暮らしのニーズが細分化され、それに合わせた豊かな住まいと暮らしの追求がますます進んでいます。

新しいライフステージの話題。シニアの暮らし

「親の介護」「老後の備え」さらには「孫」の話題が SNS でもあがるようになっていきます。内閣府によれば65歳以上のいる世帯は令和元年で全世帯の49.4%となりました。にもかかわらず、これまであまり SNS でシニア層の話題を見なかった理由は明確で、そのライフステージの世代の SNS 利用率が低かったためです。SNS 誕生からおよそ20年が経ち、当時から SNS を熱心に活用していた30代は、50代になっています。その世代によって SNS では孫と豊かに暮らすための工夫や介護とインテリアの

両立など新しいニーズが確認できるようになりつつあります。内閣府によると令和元年の日本人の健康寿命は男性が72歳、女性が75歳、平均寿命は男性が81歳、女性が87歳で年々伸び続けています。50代に続く世代はより一層 SNS の利用率が高く、そのことを踏まえれば、SNS で50代以降のライフステージの話題が増え続けていく構造であることは明白です。まだ顕在化していない新しいニーズが顕在化し、よりよい豊かな住まいと暮らしのソリューションにつながっていくでしょう。

"脱コロナ"の先に続く暮らしの兆し

"脱コロナ"で外出や旅行の機会が増え、住まいと暮らしの中でそれに対応する変化が起こり始めました。脱マスクからメイクスペースへの熱量が高まり、外出時のペットの世話のためのスマートテックが試され、明るいパワーを感じさせるようなカラフルなお部屋に注目が集まっています。今回アワードで取り上げなかった動きも多数確認できています。オフィス復帰など、コロナ前に巻き戻るかのような

話題を聞く一方で、実態を見れば、当たり前前にオンライン会議は継続されているなど、コロナ前のスタイルに戻るわけではなさそうです。コロナ禍に培ったアセットとコロナ前のいいところ取りが、脱コロナのスタンスではないでしょうか。それは住まいと暮らし領域においても同様です。先に取り上げた社会背景の変化も相まって、これまでの蓄積の上に、新しい住まいと暮らしが続いていきます。

RoomClip 住文化研究所



川本 太郎

所長 / 執行役員 CBO

2007年日本経済新聞社入社。消費産業部(現企業報道部)にて小売業・インターネット産業の取材を担当。2013年Tunnel株式会社(現ルームクリップ株式会社)に参画。2015年にセールスチームを立ち上げ、担当役員に就任。2021年にRoomClip住文化研究所を立ち上げ、同年執行役員CBOに就任。



水上 淳史

主任研究員

2015年にルームクリップに入社、ユーザー向けマーケティング部門を立ち上げ、企業向けマーケティング部門の立ち上げに注力。2021年からRoomClip住文化研究所主任研究員、ブランド室マネージャーを兼任、リアルな生活者の動向を世に伝える様々なプロジェクトを手がける。



竹内 優

研究員 / マーケター

デジタル周辺機器メーカーのプロモーション企画職等を経て2019年ルームクリップ株式会社にマーケティングとして入社。過去のブランドコミュニケーションやマーケティングの業務経験をベースに、ルームクリップのユニークネスを生かす企画を担当。2021年よりRoomClip住文化研究所研究員を兼任。

- 1 自分スタイル
- 2 小掃除(こそうじ)
- 3 映え100均
- 4 日本の古い道具
- 5 浮かせる収納
- 6 備えの災害対策
- 7 ライフハック DIY
- 8 ワントーンインテリア
- 9 ランドリールーム
- 10 チルアウトな一人暮らし

- 1 おうち○○
- 2 在宅勤務・テレワーク
- 3 ホテルライク
- 4 清潔を保つ
- 5 ゆとりある一人暮らし
- 6 ゴミを見直す
- 7 庭・ベランダで過ごす
- 8 初心者もできる整理収納
- 9 巣ごもり家電
- 10 韓国インテリア

- 1 心地よい暮らし
- 2 花・植物のある暮らし
- 3 暮らしの快適家電
- 4 韓国インテリア風プチプラ雑貨
- 5 季節を楽しむ
- 6 技あり100均
- 7 "自分映え"な一人暮らし
- 8 お部屋を彩る香りアイテム
- 9 壁付けディスプレイ
- 10 庭・ベランダのリビング化

- 1 パーソナル癒しスペース
- 2 まとめ買いルーティーン
- 3 快眠ベッドルーム
- 4 ジャパンティ
- 5 押しディスプレイ
- 6 充電ステーション
- 7 やめ家事テク
- 8 ハイブラ買い
- 9 スマートロック
- 10 ヌック

2024 Trend Forecast

— 来年の暮らし予測 —

「RoomClip 住文化研究所」が RoomClip のデータとコミュニティを最大限活用し、2024 年の住まいと暮らしのトレンドを大予測！
今後の暮らしはどのように変化をしていくのでしょうか。

check 1 節電、断熱の先に ZEH



airy / Room No.5781861

電気代の高騰がきっかけとなり、省エネと断熱への取り組みが進み、省エネ家電や高断熱建材を取り入れる動きが進みました。その延長線上で、発電設備、蓄電設備への関心も高まり、これらの設備を複合的に活用し、生活で消費するエネルギーよりも生み出すエネルギーが上回る住宅「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の話題も目にするようになってきました。電気代高騰に対する生活防衛の意識から生まれたこの流れは、サステナブルな住まいと暮らしへの関心へ広がっていきます。

check 2 脱コロナで宅飲みから進化 ホームパーティー

脱コロナで、一人であるいは家族で行われていた宅飲みが、ご近所さんや友人を招いてのホームパーティーへと進化を遂げる兆しが生まれています。コロナ禍で生まれたレシピアテーブルコーディネートなどの宅飲みノウハウがホームパーティーへと転用されることで、はじめから完成度の高いホームパーティーシーンが実現されています。ゲストルームを整える動きも並行して生まれており、外部から人を招く住まいのおもてなし系トレンドは、今後注目の動きとなりそうです。



cocoon / Room No.57334

check 3 SNSにもシニア層の話題が 介護とインテリアの両立



orange-toast / Room No.412753

SNS 誕生からおよそ 20 年経ちました。当時から SNS を熱心に活用していた 30 代は、50 代になっています。こういった世代のライフステージの変化に応じて、これまであまり SNS で話題にあがっていなかった、親の介護や自身の老後に関連する話題があがるようになってきました。その中で注目を集めているのが「介護とインテリアの両立」というテーマです。オーダーメイドや介護用品でない製品を活用するなどして、暮らしに馴染んだ介護の実現が目指されています。

ABOUT RoomClip

600万人が使う住生活プラットフォーム

RoomClip は生活者が自分の住む家の写真を投稿し、閲覧できるソーシャルプラットフォームです。2012 年にサービスを開始し、現在では月間訪問者数が約 600 万人、投稿された家の写真は 600 万枚を超え、住生活領域に特化したソーシャルプラットフォームとしては日本最大級の規模となっています。

インテリアから暮らしのノウハウまで

RoomClip で共有されるのはおしゃれなインテリアの写真にとどまりません。家づくりのこだわりポイント、家事や収納のノウハウ、DIY のアイデア、さらには季節のイベントや推しアイテムのディスプレイに至るまで、住まいや暮らしのシーンのありとあらゆる話題が写真と共に投稿され、多くの人に参照されています。

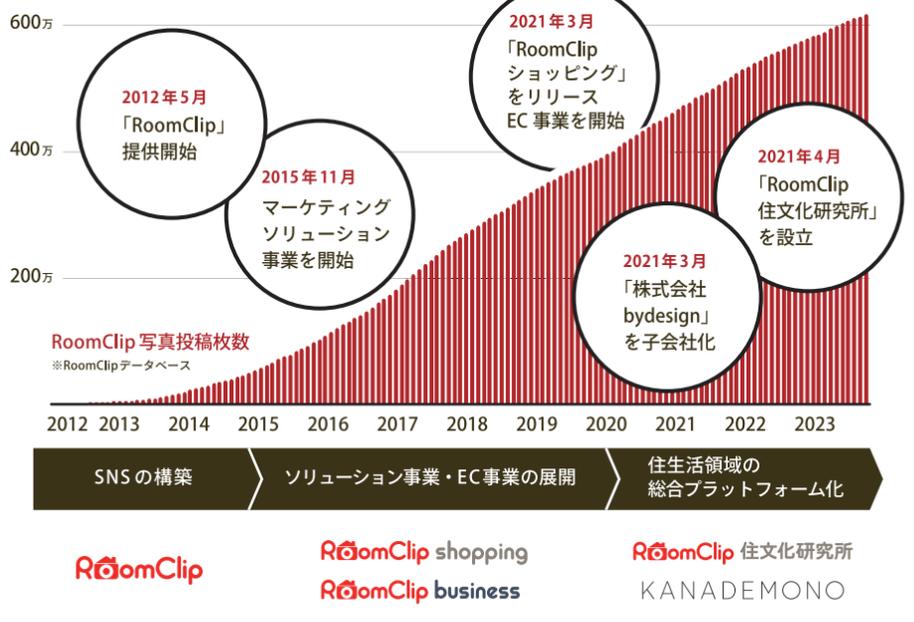
住まいへの興味関心層が幅広く利用

ユーザー層は幅広く、一人暮らしを始めたばかりの 20 代から、老後に向けてリフォームを行った 60 代まで、さまざまな世代・ライフステージの方に利用されています。特にボリュームゾーンとなるのが、住宅の一次取得世代である 30 代と、家事・育児に向き合う時間の長い 40 代。中でも女性が多く利用しているのが特徴です。

マーケティング支援からコンサルティングまで

RoomClip を運営するルームクリップ株式会社では、RoomClip に蓄積した生活者データを活用し、住生活領域の企業様向けにブランディングやマーケティング、プロモーションの支援のほかコンテンツ制作やリサーチ、コンサルティングなどを実施しております。近年ではユーザーの最新トレンドを捉えた新商品の開発やマーケティング/プロモーション戦略の立案の支援をするケースも増えています。

ルームクリップ株式会社の沿革



EC、D2C、DXまで提供価値を拡大

2021年にはRoomClipの豊富なユーザー写真を生かしたソーシャル EC モール「RoomClipショッピング」を開始し、2023年にはD2C家具ブランド「KANADEMOMO」を運営する株式会社 bydesign を合併し

ました。現在ではマーケティング支援にとどまらず、EC化・D2C化の支援、購買支援、さらにオープンイノベーションやDX支援など、住生活領域の企業に対して総合的な支援を行っております。



資料請求・ご相談はこちら
ルームクリップ株式会社
マーケティングソリューション事業部

biz@roomclip.jp



トレンド・イベント情報
をお届けする
メルマガ登録



RoomClip の
ビジネス活用事例

ルームクリップ株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目28番1号佳秀ビル2階 <https://corp.roomclip.jp/>

公式サイト
<https://roomclip.jp/>

RoomClip住文化研究所
<https://lab.roomclip.jp/>

RoomClip Award 2023 特設ページ
<https://roomclip.jp/special/award2023/>